

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索



「厚真高校林業現場体験バスツアー」を実施しました



【胆振東部森林管理署】

令和3年10月22日（金）、胆振地域林業担い手確保推進協議会主催による「厚真高校林業現場体験バスツアー」が1年生25名を対象に実施されました。当署も構成員になっており、フィールドの提供と現地での講師を務めました。

推進協議会では、高校生等を対象に林業の現状や魅力を積極的に発信して、不足している林業の担い手の確保を図る取組を進めております。

当日の内容は糸井担当区部内で、伐採作業の見学と枝打ちの体験を行いました。

見学会では高性能林業機械のハーベスタによる伐採、枝払、玉切りして造材する一連の作業を目の当たりにし、かなり衝撃的だったようでした。

枝打ち体験では、若齢級のうちに枝を払うことにより、その後の成長過程で枝の「節」が見えなくなり、節の無い建築材が作れる事や木材の強度も強くなるなどの説明の後、実際に枝打ちを行いました。

幌加内小学校で森林環境教育を実施



【北空知支署】

令和3年10月25日（月）、北空知支署では幌加内小学校において、5・6年生の児童を対象に森林環境教育を実施しました。

当日は児童15名と先生2名の17名が参加し、テーマは「学校の木を調べて、測ってみよう」です。幌加内小学校には沢山の木があるため、その木を自分たちで調べ、どのくらいの高さや太さなのかを、支署より持参した測高器・輪尺を使って測ってみました。樹種を調べる班は、樹木ガイドと校庭の木を見比べ、「この木はこんなにボコボコしているんだ！」など感じたことを話しながら観察していました。樹高や太さを測る班は、校庭の木を測り、「10メートルくらいかと思ったら28メートルもあった」などと驚きながら話していました。児童たちは毎日目にしている木でも、改めてじっくり観察してみると、いろいろな発見があったようです。

地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクトに参加



【宗谷森林管理署】

令和3年10月16日（土）、稚内市において「地球温暖化・北のてっぺん緑化プロジェクト」の一環として稚内公園スキー場跡地で、職員3名を含め47名の参加により植樹活動が行われました。このプロジェクトは、地域住民がボランティア活動により無立木地への植樹を始めとした健全な森林づくりを通じて、地球温暖化防止に資することを目的としています。宗谷総合振興局森林室から苗木の植樹方法について説明の後、各自スコップを手に取り一斉に作業に取りかかりました。参加者からは、「苗木の植え付けは簡単に見えて、実際にやってみると地面が固かったり、苗木が傾いてしまったりと意外と大変で難しい作業でした」などの感想が聞かれました。無立木地に木を植え育てていくことは、風が強くシカが頻繁に出没する稚内市では難しいことですが、少しでも地球温暖化の防止に貢献していけたらと思います。

日高小学校5年生を対象とした森林教室の開催



【日高北部森林管理署】

令和3年10月19日（火）、日高北部森林管理署では、日高小学校の5年生を対象に森林教室を開催しました。今回は森林を整備するために必要な間伐作業の現場において、森林の働き等についての説明や、高性能林業機械の作業実演、スウェーデントーチの作成、ドローンの操作体験を行いました。最初に「北の森漫画」による森林と生活の関わり、育林から伐採・製材といった林業の流れについて説明を行いました。その後、ハーベスタで伐採、枝払い、玉切りといった伐採作業の流れを見学し、実際に運転席に座りアームの操作体験を行いました。見学していた生徒からは「立木から丸太になるまでが、あつという間ですごい」、「枝がきれいに落ちるのが気持ち良い」といった声が上がりました。スウェーデントーチの作成では、慣れない鋸の扱いに苦戦しながら切り出しを行っていました。最後にドローンの操作体験ではモニターの景色に歓声が上がっていました。

令和3年度森林・林業関係事業
体との意見交換会(WEB)の開
催と参加者の公募について

北海道森林管理局の各森林管理
署等が発注する造林事業、素材生
産事業及び立木販売等に関し、森
林・林業関係事業体と下記のと
おり意見交換会(WEB会議)を開
催しますのでお知らせします。
○参加申込み対象者(次のうち一
つでも該当)

1. 令和3年度に北海道森林管
理局の各森林管理署等が発注する
造林・製品生産事業受注予定の森
林・林業関係事業体等。

2. 造林・製品生産事業につい
ては、全省庁統一資格において、
競争参加地域は「北海道」を
選択し、「物品の製造」の「その他」、
または「役務の提供等」の「その他」
に登録している者、申請中の
者及び今後申請を予定している者。
3. 林産物の売買契約の競争参
加資格を有している者、申請中の
者及び今後申請を予定している者。

○参加申込み方法
意見交換会への参加は、「参加申
込用紙」に記入し、メール又はF
AXにより送付願います。
○参加申込み締切
11月12日(金曜日)必着

詳しくは各庁をご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/seibi1/211014.html>

「森林再生ボランティアの森
林づくり」参加募集の公示
(野幌自然休養林 台風被害
人工林再生)

「社会貢献の森」活動希望者の
募集について公示しています。

○趣旨

野幌自然休養林(江別市)では、
平成30年9月の台風による、トド
マツやカラマツなどの人工林を中
心に約75ヘクタールの風倒被害
が発生しました。

この地域の森林はこれまでた
びたび風倒被害に見舞われてきた
ことから、林野庁北海道森林管理
局石狩森林管理署では、被害跡地
には風強い「多様な樹種・樹冠
層からなる」森林を、市民の皆さ
んの参加も得ながら造り上げてい
きたいと考えています。

ついては、この趣旨に賛同し、
継続的かつ計画的に活動いただけ
る森林ボランティア団体、企業、
学校等を募集しています。

○募集締切

活動フィールドの準備作業等を考
慮し、左記のとおりとします。
11月13日(土曜日)必着

詳しくは各庁をご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/sidou/211015.html>

令和3年度「コンテナ苗の安定
需給協定」に係る企画提案の公
募について

北海道森林管理局では、「コンテ
ナ苗の安定需給協定」の締結を希
望される苗木生産者を次のとおり
公募します。

○背景と目的

森林の公益的機能の発揮や森林
資源の循環利用を図る観点から、
今後増加する主伐後の伐採跡地等
における効率的かつ効果的な再造
林を着実に推進するため、施工性
に優れたコンテナ苗の普及を進め
ています。

このようなことを踏まえ、本協
定はコンテナ苗の安定的な供給体
制の構築及びコンテナ苗生産者の
育成等に資することを目的として
実施するものです。

○協定者の選定

企画競争方式により協定者を選
定します。

○公募締切

11月26日(金曜日)必着

○協定の締結

企画提案の審査を経て、令和4
年1月下旬頃までに協定を締結す
ることとします。

詳しくは各庁をご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/press/seibi1/211027.html>

広報 「北の森林 国有林」11月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70
IP電話 050-3160-6300
電話 011-622-5213
FAX 011-622-5194

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

今月の表紙

今月の木 「イチヨウ」

イチヨウは落葉高木で雄雌異株です。
街路樹としてよく植えられており秋に
は、葉は黄葉し、種は茶碗蒸しなどでよく
見る「ぎんなん」です。

イチヨウの黄葉のイラストを
表紙の月数字に載せました。

